

経営比較分析表（平成28年度決算）

岐阜県恵那市 国民健康保険上矢作病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド訓	救臨へ輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
51,667	3,238	第1種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

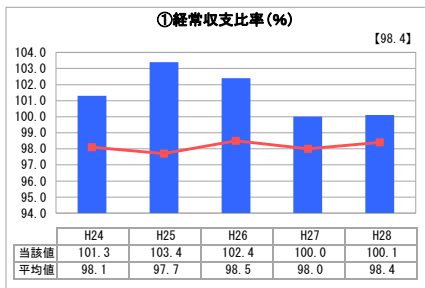
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
56	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	56
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
55	-	55

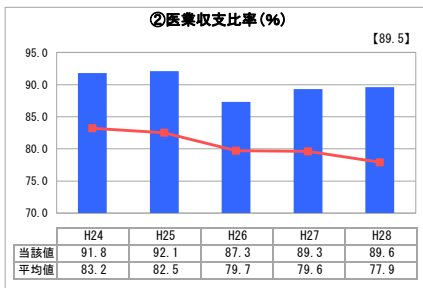
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

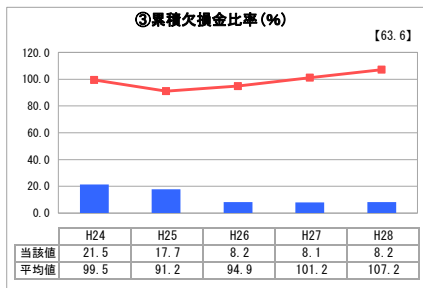
1. 経営の健全性・効率性



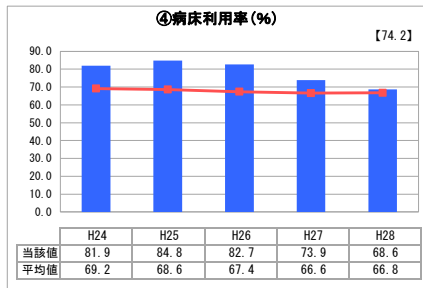
「経常損益」



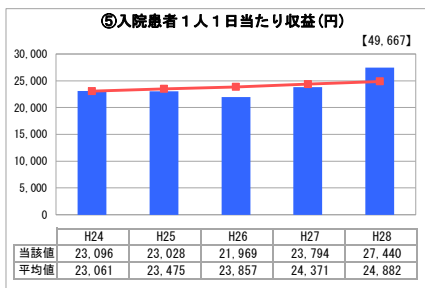
「医療損益」



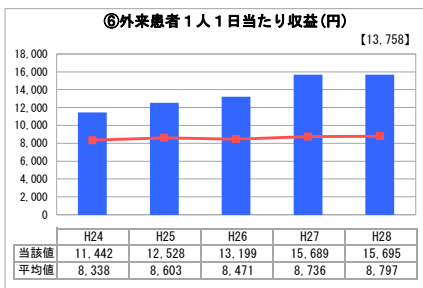
「累積欠損」



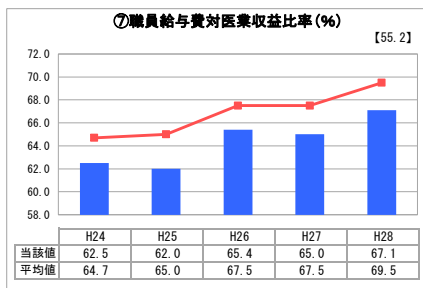
「施設の効率性」



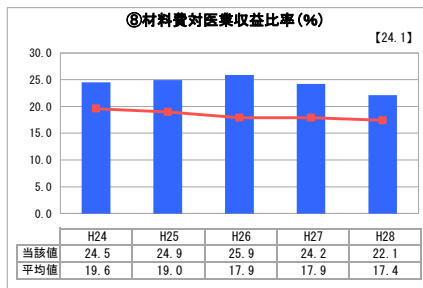
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

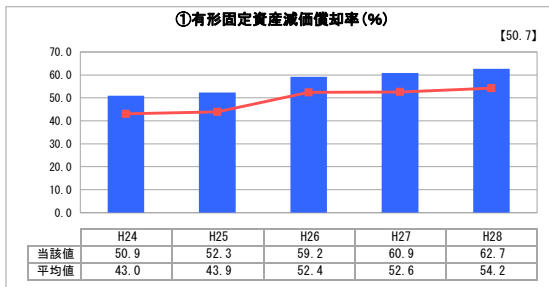


「費用の効率性①」

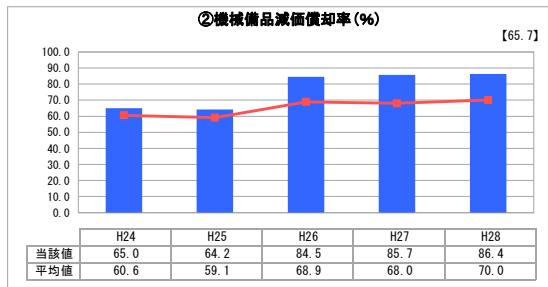


「費用の効率性②」

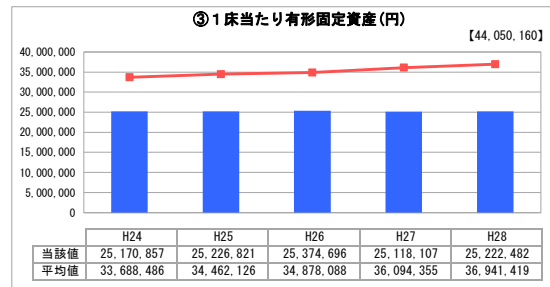
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

○へき地における医療の提供へき地医療拠点病院として、市内の公立診療所への医師等派遣。
 ○救急医療の提供 休日及び夜間における治療を必要とする救急患者の受入。
 ○地域医療を担う人材育成 臨床研修医協力施設として研修医・医療技術学生の研修受入指導の実施。
 ○地域包括医療 住民が住み慣れた場所で安心して自立した生活が出来るように医療の提供

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

○経常収支比率 黒字を確保している。引き続き経営努力を維持する。
 ○医療収支比率 病院の医療活動の費用に対する医療収益の割合は、類似病院平均値は概ね上回っている。
 ○累積欠損金比率 単年度収支の黒字を確保しつつ累積欠損金を解消するよう経営努力をする。
 ○病床利用率 70%を超える利用率であったが、患者数の減少により下回ったため今後患者数の増加に努め、利用率の向上を図る。
 ○入院・外来患者1人1日当たり収益 当年度は入院・外来ともに、類似病院平均値を上回る事ができたため、引き続き維持する。
 ○職員給与対医療収益比率 類似病院平均値を下回っているため、引き続き維持する。
 ○材料費対医療収益比率 類似病院平均値を上回っているため、安価な薬品等の購入に努めたい。

2. 老朽化の状況について

○有形固定資産・機械備品減価償却率 両者とも類似病院平均値を上回っている。老朽化が進み適切な更新等の計画に基づき経営する。
 ○1床当たり有形固定資産 類似病院平均値を下回っている。過大な投資をせずに今後も適切な投資を維持する。

全体総括

地域において担っている役割を達成しつつ、地域包括医療・ケアに邁進し健全な運営を行い、平成28年度の経営比較分析表を参考に当院のおかれている状況を把握する。経営については経常収支が単年度毎に黒字を確保しているが平成28年度は病床利用率が70%を下回っているため、患者数の増加に努める。また、医療収支比率が微増であるが増加している。医療費用等の経費削減を行わなければならない。材料費対医療収益比率についても類似病院平均値を上回っているため、安価な薬品・診療材料の購入に努め今後もより一層健全な経営・運営を行う。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。